

① 研究課題名：

専攻医が執刀する fTUL における単回使用型軟性尿管鏡の有用性

② 研究の目的：

経尿道的結石破砕術（TUL）は尿路結石の治療方法の一つであり、硬性尿管鏡を用いた r(rigid)TULと軟性尿管鏡を用いたf(flexible)TULの2種類がある。fTULは技術の習熟が必要であるとされているが、単回使用型軟性尿管鏡は、従来の軟性尿管鏡と比較し軽量で操作性に優れ、画像解像度も高く、より安全で質の高いfTULを可能としている。専攻医が執刀した単回使用型軟性尿管鏡を用いたfTULの治療成績が、専門医が執刀したfTULの治療成績と遜色ないものであれば、単回使用型軟性尿管鏡を用いたfTULにおいて、専攻医でも安全に治療可能であるといえる。本研究の目的は、専門医および専攻医での単回使用型軟性尿管鏡によるfTULの治療成績を明らかにすることである。

③ 研究期間：西暦 2021年 2月 ～ 2021年 3月 31日

④ 研究代表者及び研究実施施設

研究代表者：名古屋市立東部医療センター 泌尿器科 鳥居孝英

研究実施施設：名古屋市立東部医療センター

⑤ 研究の対象：

東部医療センター泌尿器科において、2018年4月1日から2020年7月10日までに腎・尿管結石に対し単回使用型軟性尿管鏡による fTUL を行った方で、r TUL を同時にされていない方。

⑥ 調査項目：

- ・患者基本情報：年齢、性別
- ・疾患基本情報：結石の大きさ（最大結石径）、個数、部位、左右
- ・手術：手術日、術者（専門医・専攻医 ただし、術者が複数の場合は、最初に執刀した医師を術者とする。）、手術時間、破砕の可否、使用尿管鏡、破砕方法、碎石時間、出力、レーザーの総エネルギー値
- ・術後：有熱性尿路感染症の有無（術後7日まで）、術後合併症

⑦ 研究の方法：

研究担当医師が、対象となる方の診療録より「⑥調査項目」の情報を調査し、「症例調査票」に記入し、集計・解析されます。

⑧ 研究成果の公開

学会等で公表することを予定しています。

⑨ 個人情報の保護

あなたのカルテ番号とは異なる新たな番号を付番し、その番号を用いて登録されます。このため、個人情報が外部に漏れることはありません。

この研究に参加されたくない（あなたのデータを使ってほしくない）場合は、医療者にその旨をお伝えください。この研究に用いるデータからあなたの情報を削除いたします。削除のお申し出をされた場合であっても、あなたが不利益を受けることはありません。

⑩ 利益相反

本研究において、利益相反はありません。

⑪ 問い合わせ先

研究事務局	所属	研究責任者
名古屋市立東部医療センター 住所：〒464-8547 名古屋市千種区若水1丁目2番23号	泌尿器科	鳥居 孝英 TEL : 052-721-7171 (代表)